

第14回独立行政法人評価委員会農業分科会 議事要旨(案)
農業分科会事務局

1. 日時：平成16年8月10日(火) 13:00～16:20
2. 場所：三田共用会議所第4特別会議室
3. 出席者：井上眞理委員、小林信一委員、鈴木三義委員、手島忠委員、
徳江陞委員、夏目智子委員、萬野修三委員、
日和佐信子委員、松本聰委員、安部新一臨時委員、
清野英二臨時委員、忠聡臨時委員、岡智専門委員、
菊池一郎専門委員、佐藤洋一専門委員、高橋芳幸専門委員、
武田恭明専門委員、田嶋一専門委員、土居則子専門委員、
長尾美奈子専門委員、深見元弘専門委員、福田晋専門委員、
佛田利弘専門委員、松井徹専門委員、守田純治専門委員、
渡辺雅子専門委員

4. 議事

第一部

- (1) 平成15年度業務実績評価及び財務諸表について(農畜産業振興機構、農業者年金基金、農林漁業信用基金及び、財務諸表検討会の報告)
- (2) 独立行政法人水資源機構の平成15年度業務実績に対する意見の報告
- (3) 長期借入金の認可申請について(農林漁業信用基金)
- (4) その他(独立行政法人農畜産業振興機構の中期計画の変更について)

第二部

- (1) 平成15年度業務実績評価及び財務諸表について(農林水産消費技術センター、種苗管理センター、家畜改良センター、肥飼料検査所、農薬検査所、農業者大学校及び、財務諸表検討会の報告)
- (2) 重要な財産の処分(種苗管理センター)
- (3) 独立行政法人の見直し素案について

第一部

- (1) 平成15年度業務実績評価及び財務諸表について(農畜産業振興機構、農業者年金基金、農林漁業信用基金)

資料に沿って、各法人のプロジェクトチーム(PT)委員からのPTごとの審査結果概要の説明及び、財務諸表検討会に参加した委員からの財務諸表検討会結果の説明が行われ、承認された。

- (2) 独立行政法人水資源機構の平成15年度の業務実績に対する意見の報告(水資源機構)

水資源機構PT委員から、資料に沿って説明があった。

- (3) 長期借入金の認可申請について(農林漁業信用基金)

農林漁業信用基金理事長より資料に沿って説明があり、今後の処理について、長期借入金の額が決定した段階で、郵送で諮ることとされた。

- (4) その他: 独立行政法人農畜産業振興機構の中期計画の変更について

農畜産振興機構理事長より資料に沿って説明があり、中期計画に定められている短期借入金の限度額について、今後の収支状況をみながら検討し、中期計画の変更が必要な状況となったら、郵送により諮り、手続を進めることとする旨了承された。

第二部

- (1) 平成15年度業務実績評価及び財務諸表について(農林水産消費技術センター、種苗管理センター、家畜改良センター、肥飼料検査所、農薬検査所、農業者大学校)

資料に沿って、各法人のプロジェクトチーム(PT)委員からのPTごとの審査結果概要の説明及び、財務諸表検討会に参加した委員からの財務諸表検討会結果の説明が行われ、質疑のあった後に承認された。質疑の状況は以下のとおり。

- ・財務諸表検討結果についての話の中で、簿外のものをおくべきでない、との意見があったが賛成。

また、評価について、評価はそれぞれの基準に基づいて行うわけだが、評価において問題点だけ挙げるというやり方だとうっかりすると

減点主義になってしまう。評価委員会は、もちろん問題点あれば追求しなければならないが、基本的なやり方としては加点主義で良いところを誉めて、各組織がもっと良い仕事に向かう意欲が出るようにしていくのも、委員の仕事の一つと思う。ただ、そうなるには書類だけで見ているのでは不十分で、なかなか実行は難しいかもしれないが、仕事の場面にも接するようにしないとできないと思う。

- ・ 財務諸表検討について、「行政サービス実施コスト」のような表示をすることは、国民への情報開示という点で分かり易くて大変良いと思うが、ここに示された数字の大小がそのままサービスの内容を表しているものとは言えない。実際的には難しい問題もあるが、どのような要素を用いてコスト計算をすれば、その数値からサービス内容を把握することができるのでしょうか。また、「セグメント情報」に関しては、各法人の性格が異なる中で共通的に内容比較をしたり、解釈のできる形態がとれているのかどうか。「セグメント情報」としてはいろいろな示し方ができると思うが、法人ごとに全くバラバラというのではない、ある方向づけが欲しい。これらの点についてご見解があれば、これらの点について御教示いただきたい。

これに対して委員から以下のとおり説明を行った。

- ・ 1点目の行政サービスコスト、国民1人当たりのコストについて、それが高いか低いかは、むしろ、どういうサービスをしているのかをもっと分かりやすい形で表す方が良いと思うが、これは課題として考えて行くこととして欲しい。

2点目のセグメント情報は、これだけ費用かけて、これだけの効果が出たというものだが、民間企業の売上げ、費用、利益があってはっきりしたセグメントがある企業会計とは違い、独立行政法人のセグメントといった場合、企業のようなはっきりしたものが出てこない。セグメント情報で何を訴えるか、セグメント情報と業績成果を結びつけるようなことができないかが課題。

また、委員から次の質疑があった。

- ・ 農業者大学校の評価において、募集ルートが限定されていて、その改

善を図る必要があると指摘している。農業の後継者を育てるための農業者大学校の今後に期待したいところだが、募集ルートが限定されているとは、具体的にはどういうことか。

これに対して、農業者大学校PTから以下のとおり説明を行った。

- ・今まで、農業者大学校の存在の周知をさせているルートがあまり無かった。高校の進路指導の先生にお願いしたり、農業改良普及センターの人たちががんばってくれたりということはやってきたが、もっといろいろな方法で、農業に興味を持っている人たちに周知させていくということをやって行かないといけないだろう、ということ。

さらに、これに加えて、法人から以下のとおり説明を行った。

(農業者大学校)

- ・今まで募集ルートは全て県の農業改良普及センターを通じて応募書類があがっている。アクセスの点から不便な面があるのではないかと、いろいろな産業の中からも農業を希望する人がいるという状況の中で、もっといろいろなルートを検討したらどうかという指摘をもらったところ。

また、これに関連して委員から次の質疑があった。

- ・農業者大学校について、法人の目的の対象となる人数が50%台というのは大きな課題だと思う。募集人員という根幹に係ることが小項目ということで埋もれてしまっているというのは、評価の設定の仕方を工夫する必要があるのではないかと感じるを持った。

もう一つ、行政サービスコストについて、それぞれのコストの妥当性は有ると思うが、今まで、公益法人だったものが独法に変わることによって、国民に対する情報の開示が特段に進んだということは評価できると思う。そのように国民に分かりやすい数字をどういうものを使ったらいいかという点を今後も検討いただければと思う。

これに対して、法人所管課から以下のとおり説明を行った。

(女性・就農課長)

- ・評価の基準については、ご意見伺いまして検討しまして、またお諮り

すべき事項あればお願いします。また、今回の評価の中でも、全体はA評価いただいているが、募集や人員の確保をきちんとすべきと指摘いただいているので、最大の課題だと認識しており、いろいろな手段を講じてやってまいりたいと考えている。

また、委員から以下のとおりの意見があった。

- ・ 農業者大学校について、先般、農業者大学校の35周年記念大会というのをやっている際に見学に行く機会があったが、素晴らしい学校だと思った。こういった学校の内容、実態をいろいろな場所でPRなどしたら、良い結果がでるのではないかと思う。

(2) 重要な財産の処分(種苗管理センター)

種苗管理センター理事長より資料に沿って説明があり、承認された。

(3) 独立行政法人の見直し素案について

文書課長より資料に沿って説明があり、これに対する質疑があったのち、今後の作業・調整については分科会長に一任の上、事務局と調整を行って、次回の農林水産省独立行政法人評価委員会に報告することとする旨了承された。

質疑の状況は以下のとおり。

- ・ この仕事は重要であると同時になかなか難しい。
各法人は、世の中の要請や国の政策に沿った仕事をするための法人になっていると思うが、もしかしたら、時代の要請の上で、今、少し合わなくなっているのではないかという法人や、法人が、というよりむしろその前の国の政策として方向転換しないといけないのではないか、というところもあるかもしれないと思う。

この業務見直し表では、冒頭に人数など数字が出てくる様式で、考え方というより、いきなり具体的な各論的議論が先に出てしまうように見える。一番基本になる、今の法人の実施している政策の基になっている世の中の構造が変わっているのではないか、というような根本問題をしっかり見ることができるようにしていただかないと、議論が難しいと思う。

これに対して、事務局から以下のとおり説明を行った。

(文書課長)

- ・様式は総務省等の方より指示のあったものであり、様式そのものを変えることは事務的には難しい。ただ、内容の記載については、確かに人数や予算額が最初に載っているが、目標達成状況など文章で書き込む記述の部分については、これまでの見直し素案の中でも政策目的から書き起こして検討しているので、この様式の中でもそれらを盛り込んで記載しするよう整理することとしたい。

以 上